

康本雅子 4年ぶりの単独公演開催決定!!!

『絶交わる子、ポンツ』

4年ぶり、渾身の単独公演！ 7人のダンサーと共にカンパニー作品に挑戦！

2012年6月28日(木)～7月1日(金) 会場：シアタートラム

チケット発売日：4月21日(先行発売)、4月28日(一般発売)

この度、康本雅子の単独公演が決まりました！Mr.Children、一青窈などのミュージックビデオの振付でも活躍し、そのポップな振付と、独特な感性が創り出す世界観で、コンテンポラリー・ダンス界で唯一無二の存在感を発揮する康本雅子。2008年に上演した『チビルダミチルダ』以来4年ぶりの作品となります。今回、康本が挑戦するのは、時間をかけたダンサーとの共同作業、カンパニー作品の製作です。これまでソロ作品を多数発表してきた彼女が、振付家として個性のあるダンサーとオーディション、ワークショップ、作品制作と1年にわたる時間をかけて、「代表作」となる作品を目指しています。つきましてはご取材、ご紹介いただけますと大変嬉しく思います。

作品コンセプト

人の感情は体の動きによってもっと深く濃く味えるものなのか？

嬉しいから笑うとか、悲しいから泣くとか、何か理由があって起こる感情とは別次元の、もっと根源的で無意識に普遍的に起こりうる感情。

踊ったり体を動かす事によって初めて、普段は鈍感になっている感情を呼び起こす。無秩序で不道德だけれども多分誰の中にもあるであろう感情の根っこのようなもの。もしかしたらこの感情は自分のものではなくて、余所の誰かのもので、そういうのはいつでも空気上に溢れていてふとした拍子に自分にすりりと入ってきてしまい、あまりに自然に自分を支配してしまうからどこからどこまでが自分かは関係がなくなる感覚。考えるから感じるのではなく、本当は体が心が先に感じている。

そういうダンスを、男女、女女、男男、のそれぞれの世界の中で作っていく。

そのためにはダンサーが個々に、確実にリアルにダンスを体験しなければならない、感じて感じて麻痺する位に感じてなおかつ客観的に観ている。そのことを観客にも伝染して共振してもらいたい。(康本雅子)

作品概要

[日時]

6月28日(木) 19:30 開演

6月29日(金) 19:30 開演

6月30日(土) 15:00 開演/19:30 開演

7月1日(日) 15:00 開演

[会場] シアタートラム

[チケット料金] 一般 3,800円/3,500円/当日 4,000円
劇場友の会 3,500円/世田谷区民 3,500円(前売のみ取扱)

[チケット取り扱い] プリコグWEBショップ 他
<http://precog.shop-pro.jp/>

[振付・出演] 康本雅子

[出演者] あらた真生、遠田誠(まことクラヴ)小山まさし
菊沢将憲、鈴木美奈子、下司尚実、泊麻衣子

[楽曲提供] オオルタイチ

[チライラスト] 高野華生留

[チラシデザイン] マバタキ製作所

[舞台監督] 原口佳子

[照明] 森規幸

[音響] 木下真

[制作] プリコグ



康本雅子 プロフィール

1999年よりダンサー活動を始める

2001年より自身の振り付け作品を創り始める

2005年美術手帖(12月号)の表紙を飾る

2006年WOWOWにて特集番組が組まれる

2008年3月には5年振りの単独公演『チビルダ ミチルダ』を行った。

2008年NHK「トップランナー」出演

2009年NHK「3カット美人」出演

これまでに自作品『ナ花八調』『夜泣き指ゆ』『メロドラまごごと』を日本国内8都市とイタリア、ソウル&マレーシア、タイにて公演。ダンス公演のみならず、Mr.Children、ゆず、一青窈などのミュージック・ビデオの振付や、演出家・松尾スズキの舞台や映画の振付・出演、サザンオールスターズ、ケツメイシのコンサートのダンサーとして活躍するなど、演劇、音楽、映像、ファッション界等、多岐に渡るジャンルにおいて活動する。各界から注目を集めている。<http://yasumotomasako.net>

本件に関するお問い合わせ

株式会社プリコグ 広報担当 山崎奈玲子(やまざきなおこ)

TEL:03-3423-8669

MAIL: info@precog-jp.net